

平成30年9月6日  
石川県高次脳機能障害相談・  
支援センター  
主幹 高木 多恵子  
TEL (076)266-2188

## 石川県高次脳機能障害普及啓発講演会について

高次脳機能障害は、頭部外傷、脳血管障害等による脳損傷の後遺症として、記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害などが生じる障害です。

日常生活・社会生活への適応が困難となることがありますが、退院後家庭や学校に戻り初めて気づくことも多く、また、外見からは分かりにくい障害でもあり、周囲の理解を得にくい現状があります。

高次脳機能障害の理解を深め、よりよい支援を広げていくために、下記のとおり講習会を開催します。

### 記

- 1 日 時 平成30年9月9日（日） 13：30～15：30（受付12：30～）
- 2 場 所 石川県リハビリテーションセンター 4階 大研修室  
（金沢市赤土町13-1）
- 3 対 象 者 一般県民、高次脳機能障害者やその家族、医療・福祉・教育関係者等
- 4 内 容  
講演 「脳は回復する～高次脳機能障害からの脱出～」  
講師 文筆業 鈴木 大介 氏

※別紙案内チラシ参照

平成30年度

# 高次脳機能障害に関する普及啓発講演会

障害がある...

ユーモアもある！

## ★講演「脳は回復する

### ～高次脳機能障害からの脱出～」

## ★講師 文筆業 鈴木 大介 氏

※講師と当事者との対談もあります！

★日時：平成30年9月9日（日）13：30～15：30

★場所：石川県リハビリテーションセンター 4階 大研修室  
（金沢市赤土町二13-1 済生会金沢病院横）

★対象：一般県民、高次脳機能障害のある方、家族の方、支援者等どなたでも

★参加費：無料

★協力：高次脳機能障害患者と家族の会つばさ

### ～ 講師紹介 ～

鈴木さんは、41歳で脳梗塞を発症し、高次脳機能障害と診断されました。懸命なりハビリを重ね、飛躍的な回復を遂げ、仕事に復帰されました。

“当事者や家族の辛さを少しでも緩和できるヒントになれば”と、見えづらい高次脳機能障害の辛さを、笑いも交えて著書などで表現され、ご活躍されています。

〔 著書 「脳が壊れた」新潮社、「脳は回復する～高次脳機能障害からの脱出～」新潮社、  
「されど愛しきお妻様『大人の発達障害』の妻と『脳が壊れた』僕の18年間」講談社 〕



締切  
9/5（水）

参加申し込み書（FAX番号 076-266-2864）

連絡先：

| 区分（○で囲んでください）  | 所属（支援者の方はご記入ください） | 氏名 |
|----------------|-------------------|----|
| 当事者・家族／支援者／その他 |                   |    |
| 当事者・家族／支援者／その他 |                   |    |
| 当事者・家族／支援者／その他 |                   |    |

質問等がありましたらご記入ください。

\*申し込みをもって研修会参加を決定いたしますが、申し込み多数の場合はご連絡いたします。

★お問い合わせ・お申し込み先★

石川県高次脳機能障害相談・支援センター TEL 076-266-2188